

観光創造専攻

平成28年度
後 期

日本語論述

13:30～15:30

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題紙は、この紙を含めて2枚である。
- 3 解答用紙(25字×40行=1,000字)は、2枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 5 受験番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 6 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 7 下書き用紙は別途配付されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 8 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題について、1,600～2,000字の日本語（横書き）で解答しなさい。
なお、適当な位置で改行して段落に分けること。また字数は改行による空白を含めて計算する。

現代社会の諸現象は、グローバリゼーション（globalization）の影響を受けており、観光もその例外ではない。近年、観光開発や観光活動によって、地域の自然や文化に、従来とは異なる価値が見出されている。つまり、ローカルな自然や文化が商業化・制度化され、自然観光資源や人文観光資源として「観光資源化」されているのである。

こうした状況を踏まえた上で、ある地域で、一般に対して公開されていないローカルな景観や自然現象、史跡、施設、祭事などを、観光資源化し観光客に公開することの是非について、あなたがどちらの立場に立つかをはじめに明言した上で、その理由や根拠を述べよ。なお、具体的な事例を用いて説明する場合も、個別事例の説明に終始せず、できるだけ一般化して論ずること。また、賛成・反対どちらの立場を選ぶかは、解答の評価に一切影響しない。